

江戸川学園取手中・高等学校 殿

所在地：〒302-0025 茨城県取手市西1-37-1 tel. (0297) 74-8771 (代表)

ホームページ：<http://www.e-t.ed.jp/>



マルチメディアセンター部長
石井 國宏様

「え・ど・とり」の愛称で親しまれている江戸川学園取手中・高等学校は、全校生徒数約2,180人。今年で開校26年を迎える、若く活気ある学園です。5年を1タームとした「タームメソッドプラン」を導入。タームごとに学園の目標を掲げ、生徒のスポーツ活性化と学力向上を目指し、正に「文武両道」を実践しています。

「人格を磨けば、学力は伸びる」のフレーズに基づき、「心の教育」「IT教育」を2本柱に「日本一の規律のある進学校」を確立。学園の教育方針に感銘し、全国から入学希望の生徒のみならず、教育委員会や教育機関も視察に訪れます。毎年、数多くの国公立・医歯薬系や有名私立大学等に卒業生を輩出している、最先端の思考と設備を兼ね備えた学園です。



「心の教育」と「IT教育」の実践を
NECプロジェクタがお手伝い。



江戸川学園取手中・高等学校とNECプロジェクタとのお付き合いのきっかけは、校長先生をはじめ教職員の方々のIT化、最先端の技術への関心が非常に高いという点に起因しています。約5年程前、1300人収容可能な一流の劇場に匹敵する「オーディトリウム・大ホール」の建造にあたり、計画の段階からプロジェクタ、音響装置、更には舞台装置までを導入すべく設計を行い、その際にNECプロジェクタ「XL6500J」を導入いただいたことが始まりです。以来、NECプロジェクタのユーザー様として、お付き合いをいただいています。約半年前、NECの高輝度3チップDLPTMプロジェクタ「XT9000J」にヴァージョンアップをしていただき、オーディトリウム・大ホールにおける多種多様な行事・イベント等に広く活用していただいています。

まず、「心の教育」について詳しくお聞かせください。

石井様 本校は「人格を磨けば、学力は伸びる」のフレーズを基に、「心の教育」を行っています。「心の教育」は「IT教育」と共に教育方針の2本柱の1つとなっています。本校では、単に勉強にだけ捉われる事なく、様々なイベントや講演会を通して「右脳教育」にも力を注いでいます。その最たるものは、校長先生との道徳の授業や「夢を語る会」です。校長先生の様々なトピックスの講話を通して考える力を養い、モラルの向上や人格の陶冶に努めています。また、オーディトリウムを利用して各界著名人の「講演会」やベルリン・フィル等の楽団を招いての「コンサート」「観劇会」や「絵画展」も毎年数回、催しています。素晴らしい芸術に触れることも表現力豊かな人間形成には重要な事であり、しいては学力向上に結びつくものと考えています。

もう1つの柱である「IT教育」とは、どのような内容ですか。

石井様 簡単に言うと、「インターネット学習システム」です。本校では、IT環境が非常に充実しており、生徒の家庭でもインターネット普及率は、ほぼ100%です。パスワードさえ入力すれば、家庭からはもちろん、ネット環境があるところならどこからでも全科目の個人学習を行うことが可能です。さらに特筆すべきは、先生と生徒マンツーマンの質疑応答も可能だという点ですね。お互いに心を通わせながらの学習を実践しています。学習用コンテンツやホームページの内容は全て先生方の手作り運営されていて、生徒を第一に考え、創意・工夫が詰まった内容になっています。このような努力のおかげで当校のHPへのアクセス件数は、中・高等学校開設のサイトとしてはトップクラスの1日約4,500件を誇っています。学校からのお知らせやご家庭からの各種問い合わせ・申し込み等もインターネットを利用して行っています。

素晴らしいですね。そのような教育方針の中でオーディトリウムには、大画面を映し出すために大型のビデオプロジェクタを設置しているとのことですが。

石井様 ええ、NECの高輝度3チップDLPTMプロジェクタXT9000Jを常設しています。利用頻度は高く、週に何度も利用しています。例えば、前出の「心の教育」「講演会」など1300人の大ホールで行う場合、どうしても話している人の表情までは見えないことがありますよね。そのような状況で、306インチ大画面で講師の方の表情を拡大したり、資料（パワーポイント等）をわかり易く映し出したりしています。



他には、どのようにご活用されていますか。

学年ごとの「合同ホームルーム」でも活躍しています。また、生徒主体の「スピーチコンテスト」「ディベート大会」や「文化祭」などのイベント、さらには入学希望者の保護者を集めての「学校説明会」と多種多様な場面での活用を図っています。ホールには会場内カメラ・書画装置・パソコンをはじめ、DVDプレイヤー・ビデオ・テレビまで装備してあるので、色々なソースを映し出すことができ、様々な用途に活用しています。

NECの「XT9000J」を導入いただいた際に、ポイントとされたのは、どのような点ですか。

石井様 やはり学校ということもあり、大画面で生徒全員が情報共有する必要がありませう。例えば合同ホームルームや道徳授業での使用に有効ですね。ホールの各座席に備え付けのデスクがあり、プロジェクタの画面を見ながらノートを取ったりする状況が多々あるんですよ。その場合、ホール内が暗くてはノートを取る事は難しいですよね。その問題をクリアするために、私は以前から高輝度（少なくとも5000ANSIルーメン以上）の機種と考えていました。

導入されてのご感想はいかがですか。

石井様 「XT9000J」は、明るさの要求を十分に満たす10000ANSIルーメンの高出力・高輝度ですので、ホール内を明るくしても画面は鮮明に映し出され、ノートを取るにも十分な館内の明るさが確保できました。プロジェクタがある調整室から306インチの大型スクリーンまでは、約40m程あるのですが、輝度を損なうことなく投写可能で、さらに解像度も良いといった点も良いですね。また、プロジェクタの性能に加え、NEC営業及び、技術部門の方々の迅速なサポート体制・メンテナンス体制には非常に満足しています。

本日はありがとうございました。

Key word

- 文教施設では、明るさが必須条件。。
- IT教育向上に、重要な役割を果たす。
- 大画面投写で、集中力を切らすことなく、授業が進められる。